

## 完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2021年4月12日

事業ID:2019526045

事業名:プロジェクト豊遊

～豊かな時間を過ごすことができる人材の育成～(海と日本2020)

団体名:NPO法人コバルトブルー下関ライフセービングクラブ

代表者名:代表 新名文博 印

TEL:083-227-2393

事業完了日:2021年3月31日

事業費総額	: 4,972,037 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	: 1,002,037 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	: 3,970,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	: 0 円	(収支計算書の青のセルの値)

### 1.事業内容

#### ■事業内容1及び4

##### (1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1 地域魅力発掘事業  
(1)時:R2年6月下旬  
(2)場:渚の交番 島戸～青山学院大学  
(3)参加者:下関市内の小・大学生・地域住民と都市圏在住の小・大学生 20人  
(4)内容:都会の子供・大学生と地域の子供・大学生・地域住民がテレビ会議を通じ交流をする※都会の子供にとっての地域の魅力を探る

4 地域の魅力発信事業  
(1)時:R2年9月中～10月下旬  
(2)場:渚の交番 島戸～青山学院大学  
(3)参加者:下関市内の小・大学生・地域住民と都市圏在住の小・大学生 20人  
(4)内容  
・3項の体験を通じ、地域の魅力やその発信方法について意見交換・整理し、動画を制作  
・まとめた動画をSNSで発信

##### (2)事業完了時の事業内容(実績)

(1)時:R2年4月23日～12月3日  
(2)場:渚の交番 島戸～青山学院大学生各自宅～峰年さん(都市圏在住保護者代表)自宅  
(3)延べ51人  
(4)内容:青山学院大学生と地元大学生がテレビ会議を通して交流し都会の子供にとっての地域の魅力を探った

4 地域の魅力発信事業  
(1)時:R3年2月5日～3月31日  
(2)場:渚の交番 島戸～青山学院大学・下関市立大学各学生自宅  
:下関市立豊北中学校  
(3)参加者:青山学院大学生2人及び下関市立大学生3人・プロボノワーカー2名  
(4)内容  
・3項の体験を通じ、地域の魅力やその発信方法について意見交換・整理し、動画を制作  
・まとめた動画をSNSで発信した  
・下関市立豊北中学校(体験者2名を含む)において、ワークショップを開催した

##### (3)成功したこととその要因

1 コロナ禍の影響が予想以上に大きく、リモートミーティングする機会が多くなったためスキルアップにつながった。

4  
・コロナ禍において地域住民より、これまででもやり取りしてきた地元の大学生(下関市立大学生)に本事業を委託したい旨を受けたので、その後は下関市立大学生を交えて本事業を実施することになった。更に下関市立大学OB2名(プロボノワーカー)を交えて動画を制作しSNSを交えて発信することになり予想を上回る見事な動画ができた。また、本事業の途中で山口県の事業(山口つながる案内所)とリンクさせ、より大きなアクションと効果を生み継続性をもたせることにつながった。  
・青山学院大学生と下関市立大学生(インターンシップ)との交流から、地域の魅力を発信するツールは必ずしもSNSばかりではなく、様々なサイトが存在しその中でも新たなメディアプラットフォーム note が有効だということが分かった。そこで青山学院大学の学生にnoteを活用し地域の魅力を発信することで交流人口や関係人口の増大に努めることになった。  
・withコロナの考え方が浸透し始めたことにより教育現場でのリモートワークの導入に前向きになってきたので、下関市立豊北中学校(体験者2名を含む)において、下関市立大学の学生を交えて(リモート参加)、地域の魅力について考えるワークショップを開催した。

(4)失敗したこととその要因

1  
 ・コロナ禍の影響により実際に都会から子どもたちを招くことが難しい状況に陥ったため、そのための布石となるリモートによる地域魅力発掘事業のモチベーションが下がってしまった。  
 ・地域住民を交える予定だったが、島戸地区の平均年齢が75歳であるためコロナへの恐怖心がとても強かった。一方で渚の交番島戸を運営する私たちは業務の性質上、常日頃から様々な人々と接触することが多い。そのため地域住民とのやり取りは非対面による電話などのみとし接触は控えることになった。  
 ・地元の小・中学生を交えたかったが、途中で中学生1名がコロナに感染したことでかなりガードが厳しくなった。その上、この時期には地域の教育現場ではリモートワークの導入が進んでおらず、うまく噛み合わなかった。

4  
 ・地域住民を交える予定だったが、再び緊急事態宣言が出される等コロナ禍における島戸地区の不安や懸念を汲み取り、代表者として自治会長である小野氏と地元漁協組合長の西島氏がPCR検査により陰性確認のとれている青山学院大学生と対面交流を果たしたのみに留まった。

(5)事業内容詳細

1 別資料1参  
 4 別資料2参

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2 マリフェスタ'20in豊北  
 (1)時: R2年6月下旬  
 (2)場: ホテル前ビーチ  
 (3)参加者: 下関市内・山口県内外の小中高大学生 180人  
 (4)内容: 海岸清掃・海の体験・食の体験・手話教室  
 ※1項テレビ会議で一部変更有り  
 地元の魅力を発信する動画作成後、都市圏の子供に共有



(2)事業内容の実施(完了)状況

2 マリンフェスタ2020in豊北  
 (1)時: R2年7月12日  
 (2)場: ホテル西長門リゾート前ビーチ  
 (3)参加者: 下関市内・山口県内外の小中高大学生59人  
 (4)内容: 海岸清掃・海の体験・食の体験を実施した  
 ※1項テレビ会議で一部変更有り  
 地元の魅力を発信する動画作成し、SNSにより発信した他、都市圏の子ども及び保護者大学生に共有しオーシャンガストロノミーの内容について考えた

(3)成功したこととその要因

新型コロナウイルス感染対策ガイドラインに従って防止対策を徹底した他、本イベント中の食の体験(BBQ)では団体ごとにタープ及びBBQ機材を設置することで各団体が密にならないように努めた結果としてコロナ感染者を出さずに実施することができた。

(4)失敗したこととその要因

・例年通り市内小中学生に広く周知する予定であったが、たとえ新型コロナウイルス対策を十分に施したとしても100%防げる保障がない中でマスク等に対して事前周知を行う自信をもてなかったため広くPRすることができなかった。  
 ・コロナウイルス対策の検知から考えて開会式や食事での密を回避するために、対象者の数を減らさざるをえなくなり予定していた人数を集めてのイベントを実施することができなかった。

(5)事業内容詳細

別添動画参

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

3 オーシャンガストロノミー '20in 豊北  
(1)時: R2年9月中旬(2泊3日)  
(2)場: 角島大橋周辺海域  
(3)参加者: 豊北町と都市圏在住の小学生 20人  
(4)内容  
・海岸清掃  
・海の体験(SUP・水上サイクリング・クリアカヤック等)  
・海産物の収穫(釣り・ウニ獲り体験)と農場で農産物の収穫  
・海辺にテント等を設置する体験  
・火おこしや焚火の他、海産物・農産物を屋外で料理・食す  
・地域住民協力で干物加工を体験



(2)事業内容の実施(完了)状況

3 オーシャンガストロノミー '20in 豊北  
(1)時: R2年12月5~6日(1泊2日)  
(2)場: 豊田湖及び島戸港  
(3)参加者: 山口県内の小中学生 9人(1名は発熱のため欠席した)及び都市圏の大学生 6人  
(4)内容  
・湖及び海の体験(クリアカヤック・釣り)  
・ワカサギ釣り及び磯釣りを実施  
・農場で農産物の収穫を実施  
・火おこしや焚火の他、海産物・農産物を屋外で料理・食した  
・地域住民の協力の下で干物加工教室を実施し、お土産として持ち帰ってもらった

(3)成功したこととその要因

・企画当初は9月中旬実施を予定していたが、コロナの影響やその防止策等が目まぐるしく変化したため開催時期や内容を見直しながら12月に実施するに至った。議論の末、イベントに関わる全員がPCR検査を受け、陰性であることを確認の上で実施した他、現場では新型コロナウイルス感染対策ガイドラインに従って防止対策を徹底した結果、本イベント関連ではコロナ感染者を出さずに実施することができた。

(4)失敗したこととその要因

新型コロナウイルスの状況を見守る必要があったため、内容変更を素早く行う事ができずイベント実施時期が遅くなった。12月の開催となったため、海が荒れる可能性が高くなったため海での体験を提供することができなかった。また、イベント開催日程決定から開始までのタイムスケジュールがとてもタイトになった上に感染者が出た場合のリスクも考え、マスコミへの周知ができなかった。

(5)事業内容詳細

別添動画参

■事業内容5

(1)契約時の事業内容

5 無人島の漂着ゴミ回収事業  
(1)時:R2年6・8・10月  
(2)場:鳩島  
(3)参加者:NPOメンバー4人  
(4)内容  
・ゴミ回収  
・動画制作  
・ワークショップ開催



(2)事業内容の実施(完了)状況

5 無人島の漂着ゴミ回収事業  
(1)時:R2年9月2日・R3年3月14日・R3年3月28日  
(2)場:鳩島  
(3)参加者:NPOメンバー4人・NPOメンバー5名・NPOメンバー3名+ブリヂ  
ストンサーフィン部他 3名  
(4)内容  
・ゴミ回収  
・動画制作  
・ワークショップ開催(3月28日)

(3)成功したこととその要因

当初NPOメンバーだけで実施する予定だったが、ブリヂストンサーフィン部の3名が自発的に水上オートバイの免許を取得し事業に参加することになった。これまでは、当NPOが中心となって漂着ゴミの回収の協力をお願いをしてきたが、サーファー等のステークホルダーが自発的にアクションするようになってきた。渚の交番島戸のハブ機能を十分に発揮することができているとともに、この持続可能な取り組みが定着するよう見守っていききたい。

(4)失敗したこととその要因

本取組みを対外的に周知することが出来なかった。

(5)事業内容詳細

別資料3参

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

1.本プロジェクトがきっかけとなり、山口県内外の大学と首都圏の大学との間で海や陸の資源や環境の持続可能性について考えるようになっていく<現段階で交流はない>。 2.地域の人々(子供・大学生・地域住民)が、自分たちの住む地域の魅力を理解し自信(コミュニティプライド)を取り戻す<田舎には何も無い・自信を喪失している>。 3.地方に住んでいても、都会の人と交流(将来的に仕事)ができることを知ってもらう<若者たちは都会にしか仕事がないと考えている・若者の流出が深刻>。 4.それぞれの”豊かな時間を過ごすこと”の大切さに気が付く<都会では豊かな時間の意味さえ考える間も与えられず・田舎では豊かな時間の魅力に気が付かない>。
--

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	578	文字数チェック	OK
1.青山学院大学生と地元大学生がテレビ会議を通して交流し都会の子供にとっての地域の魅力を探ることができた。 新型コロナウイルスの影響で、関係者が一同に介して集まることはできなかったが、zoom等新たな交流ツールを活用することで、首都圏と地域の関係者を繋ぐ方法を確立することができた。 2.本イベントを通じて、地元の子供たち・地域住民含めた地域の人々が、豊北町の美しい自然等の魅力を再確認でき、自信(コミュニティプライド)を取り戻すきっかけを作ることができた。 3.本年度は、新型コロナウイルスの影響で都心の子供たちを招くことができなかったが、youtubeを通じて地域の魅力を広く発信することができた。 4. ・下関市立大学OB2名(プロボノワーカー)を交えて動画を制作しSNSを交えて発信することになり予想を上回る見事な動画ができた。青山学院大学の学生がnoteを活用し首都圏からみた地方の魅力を記事として地域の魅力を発信することで交流人口や関係人口の増大に関わることになった。 ・withコロナの考え方が浸透する中で、本プロジェクトにおいて下関市立豊北中学校(体験者2名を含む)で下関市立大学の学生を交えて(リモート参加)、地域の魅力について考えるワークショップを開催したことが、地域の教育現場でのリモートワークを積極的に導入するきっかけとなった。			

3.事業実施によって得られた成果

コロナ禍にあっても昨年まで同様に豊北町の美しい海の魅力を提供することができた。 また、本事業を通じて、”新しい生活様式”に則った事業展開を実施することができたため、地域の魅力を様々なツールを活用し、広く発信する方法を確立することができた。 本事業で得られたノウハウを活用し、広域において関係者とつながりながら事業を展開することができる可能性を感じた。
---

#### 4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応策

・これからしばらくは何をするにおいてもwithコロナとなるため、常に関連情報に耳を傾けつつ柔軟性をもって事業展開する必要があるため、それに対応できる体制を整えることが重要だと感じている。  
・渚の交番島戸の常勤者が2名と少人数であるため、各事業を実施する際に外部人材を巻き込み調整することが必須となるが関係者の調整・体制構築に時間を要するため、各事業の体制構築及び実施マニュアルを整備する必要があると思っている。  
・これまでに海と日本プロジェクトや渚の交番プロジェクトを通して学んだことを2021年11/11(木)～12(金)に島根県出雲市で開催される熱源サミット2021の取り組み事例の共有や新たなムーブメントの創出に向けた分科会においてしっかりとお伝えし課題解決に向けたヒントを得たいと考えている。

#### 5.事業成果物

##### (1)助成契約書記載の成果物名称

事業実施報告書

##### (2)事業完了時の成果物名称

マリフェス'20in豊北事業実施動画  
オーシャンガストロノミー '20in 豊北事業実施動画  
無人島の漂着ゴミ回収事業事業実施動画

各事業の活動写真等別添資料



##### (3)未作成となった要因

##### (4)成果物を登録したウェブサイトのURL